KAWAI
DIGITAL PIANO
CA1000GP
取扱説明書

■同梱品

□本　体	□ヘッドホン
□譜面台	□ヘッドホンフック
□椅　子	□保証書
□電源コード	□ご愛用者カード
□取扱説明書（本書）	□クラシカルピアノコレクション（楽譜集）

このたびは、KAWAI デジタルピアノCA1000GPをお買い求め頂きまして誠にありがとうございます。
CA1000GPは、木製鍵盤を搭載しておりグランドピアノのタッチをリアルに再現します。
ピアノ音色はフルコンサートグランドピアノをステレオサンプリングしたもので、ダンパーペダルを踏んだ時の響きも含めて大変リアルな音になっています。さらにグランドピアノの響きに近づけるトップスピーカーを装備しています。
ピアノ音色など全24音色を内蔵し様々な音色を楽しむことができます。
また、ピアノ演奏上達のためのレッスン機能を搭載し、お子様でも楽しく練習することができます。
その他、自分の演奏を録音する機能、音に残響効果を与えるリバーブやその他のエフェクトやハンマーフェルトの軟硬をシミュレートするボイシングなど多種多彩な機能を装備しています。
CA1000GPの性能をフルに発揮していただくとともに、いつまでも末永くご愛用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読み下さるようお願い致します。

■CA1000GPをご使用になる前に必ず本取扱説明書をよくお読みください。

目　次

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。表示と意味は次のようになっています。製品本体に表示されているマークには次のような意味があります。

注　意
感電の危険あり
本体をあけるな

注意：火災や感電防止のため、本体を雨や湿気の多いところに、
　　　さらさないで下さい。

このマークは、感電の危険があることを警告しています。

このマークは、注意喚起シンボルです。取扱説明書等に、一般的な注意、警告の説明が記載されていることを表しています。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

絵表示の例

△記号は注意（用心してほしい）を促す内容があることを告げるものです。左図の場合は「指を挟まないよう注意」が描かれています。

○記号は禁止（行ってはいけない）の行為であることを告げるものです。左図の場合は「分解禁止」が描かれています。

●記号は強制（必ず実行してほしい）したり、指示する内容があることを告げるものです。左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。

警告

◆電源は、必ずAC100Vを使う

100V以外禁止

●電圧の異なる電源を使用しないで下さい。
●発火の恐れがあります。

◆付属の電源コードは本機でのみ使用する

●付属の電源コード以外を本機で使用しないでください。
●付属の電源コードを他の機器で使用しないでください。

◆水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない

濡れた手で触らない

●感電の原因になります。

◆水がかかる場所で使用したり、水に濡らす（つける,かける,こぼす）などしない

●漏電によって、感電や発火の原因になります。

◆本機を落とさない

落とさない

●運搬の際は、必ず２人以上で運んで下さい。

◆イスは次のように使用しない

●イスで遊んだり、踏み台にしない
●イスには2人以上で座らない
●イスの高さ調節は、イスから降りて行う（調節機能付きの場合）
●イス組立時、ネジをしっかり締める

使用しない

●イスが倒れたり、指をはさむ恐れがあり、けがの原因になります。
●不安定な場所に置かないでください。
●長時間使用してイスのボルトがゆるんだ場合は、付属のスパナで締め直してください。

◆ヘッドホンは、大音量で長時間使用しない

長時間使用禁止

●聴力低下の原因になる恐れがあります。

◆本機を分解、修理、改造しない

分解禁止

●故障、感電、ショートの原因になります。

◆電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜く

プラグ部分を持つ

●コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

◆長時間使用しない時は必ず電源プラグを抜く

プラグを抜く

●落雷時に火災の原因になります。

⚠注意

◆本機を次のような所では使用しない
●窓際など直射日光の当たる場所
●暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所
●戸外など極端に温度の低い場所
●極端に湿度の高い場所
●砂やホコリの多い場所
●振動の多い場所

使用禁止

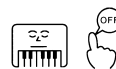
●故障の原因になります。

◆鍵盤蓋は、ゆっくりしめる

ゆっくりしめる

●いきおいよくしめると、指をはさみ、けがの原因になります。

◆コード類を接続するときは、各機器の電源を切って行う

電源を切る

●本機や接続機器の故障の原因になります。

◆本機の内部に異物を入れないようにする

異物を入れない

●水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。

◆本機の鍵盤にもたれない

もたれない

●本体が倒れる恐れがあり、けがの原因になります。

◆テレビやラジオ等の電気機器の側に置かない

他電気機器から離す

●本機が雑音を発する恐れがあります。
●本機が雑音を発したら、他の電気機器から十分に離すか、他のコンセントをご利用下さい。

◆電源コード、接続コード類は本体で踏んだりからまないように接続する

からまないようにする

●コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

◆ベンジンやシンナーで本機を拭かない

ベンジン／シンナー禁止

●色落ちや、変形の原因になります。
●清掃するときは、柔らかい布をぬるま湯につけて、よく絞ってから拭いて下さい。

◆本機の上に乗ったり、圧力を加えない

上に乗らない

●変形したり、倒れる恐れがあり、故障や、けがの原因になります。

◆本機を移動するときは引きずらない

引きずらない

●移動の際は、必ず持ち上げて運んで下さい。引きずって移動すると、本体を破損する恐れがあります。

●ヘッドホン使用時、または音量下げて演奏の際は、構造上打鍵音（メカニズム音）が若干聞こえますが異常ではありません。ご了承ください。

●パネル上のディスプレイには、あらかじめ保護用の透明シートが貼り付けてありますので、はがしてからご使用下さい。

■保証書について

●本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行って下さい。保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入が無い場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。

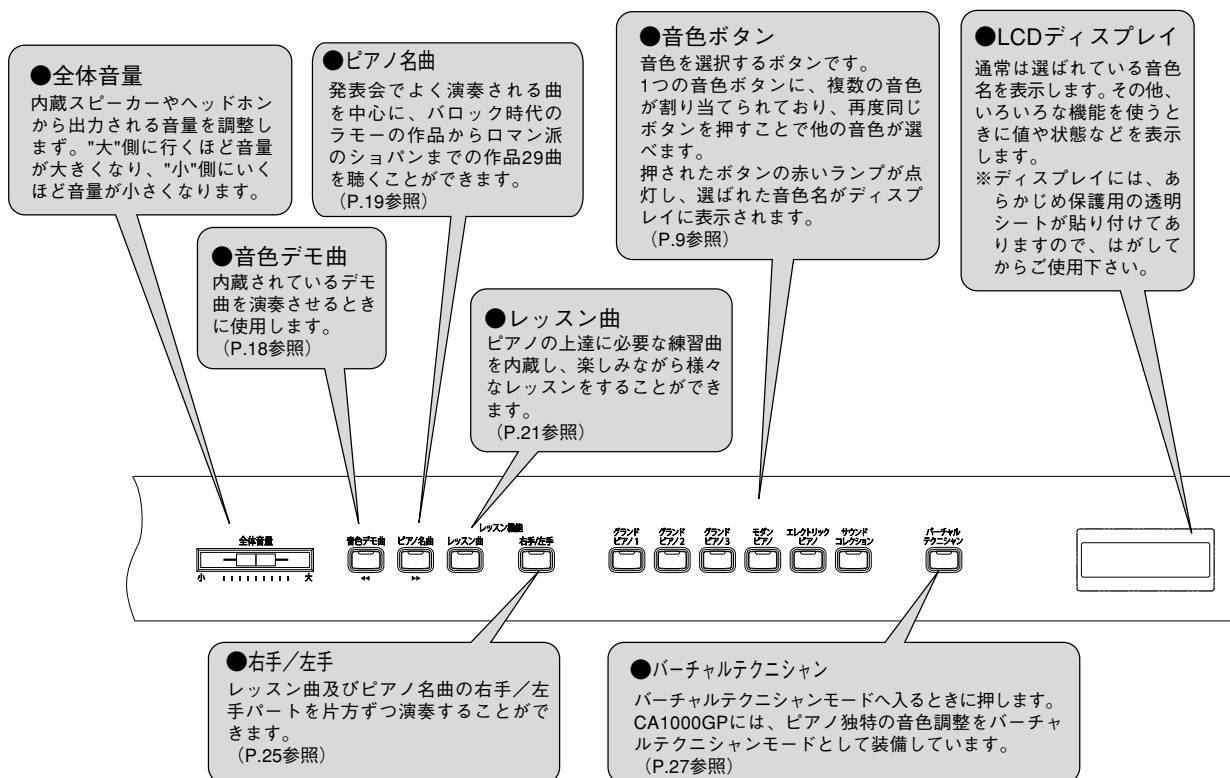
●保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管下さい。

■修理について

●万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡下さい。

1. 各部の名称と働き

スライダーやボタンなどの位置とその機能を説明します。

◇ パネル図

◇ ペダルを使って演奏

◆ ダンパーペダル

このペダルを踏んで演奏すると鍵盤から手を離した後の音の減衰の仕方が変わります。
踏み具合により下図の 8段階の減衰の調節ができます。

右図は、鍵盤を押した後の時間と音量の関係を表わしたグラフです。
ダンパーペダルの踏み方により、離鍵時の減衰が、8通りになります。
深く踏むごとに、① → ② →・・・・→ ⑧のような減衰の仕方をしていきます。
最も深く踏んだときに、最も音が伸びます。

●設定
いろいろな値を設定する時に使います。

●ブリリアンス
音の明るさを調節することができます。
（P.11参照）

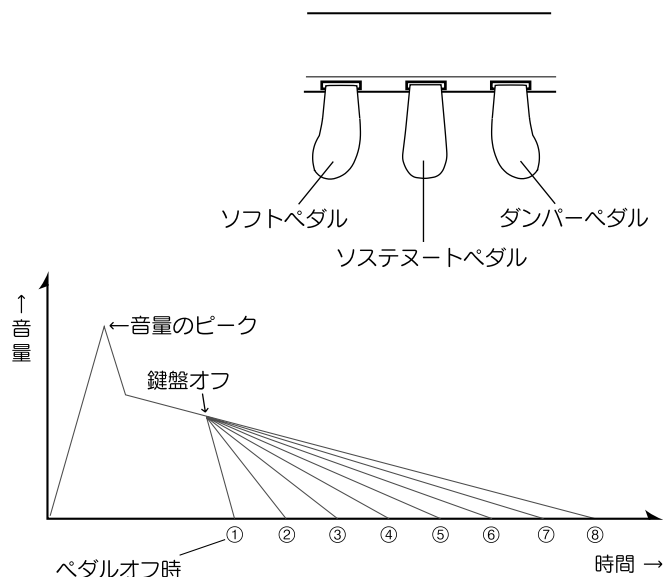
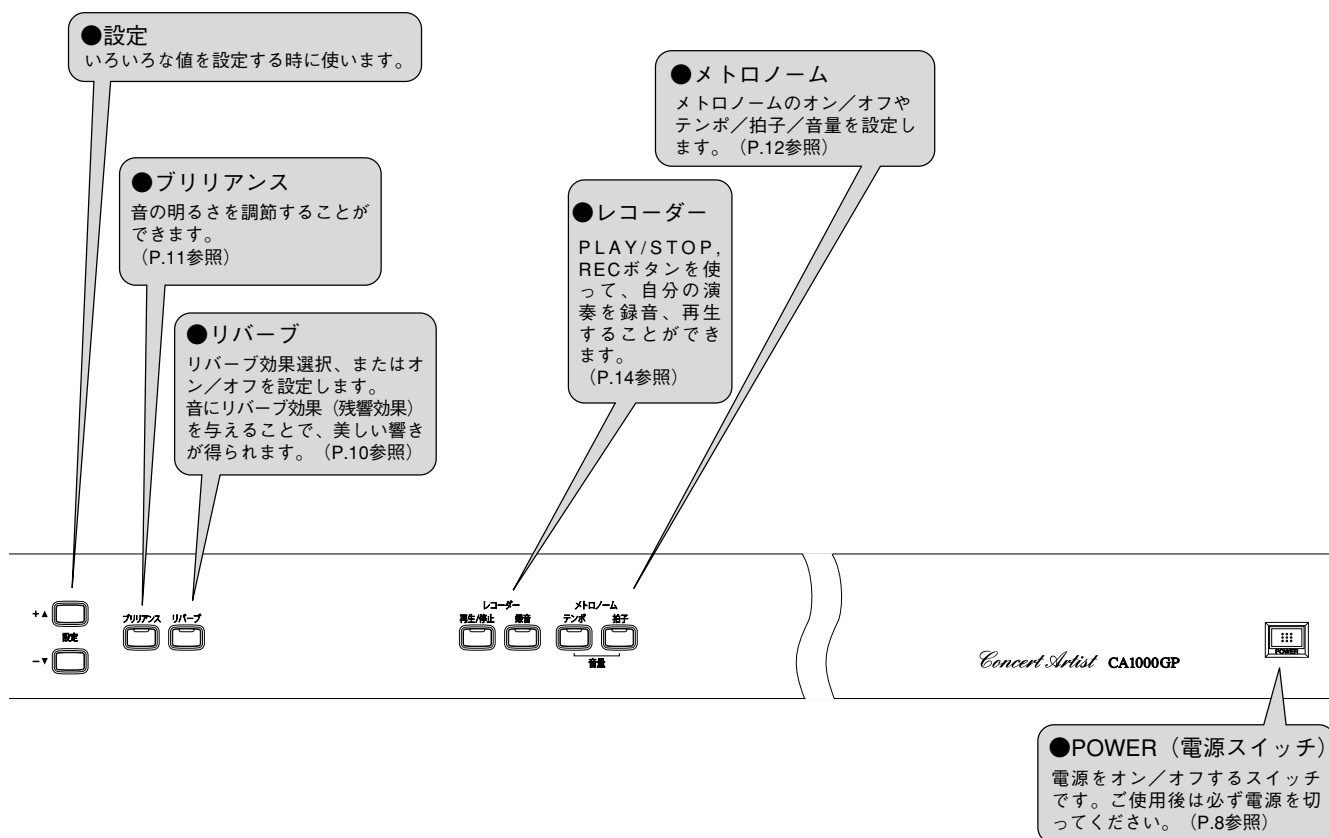
●リバーブ
リバーブ効果選択、またはオン／オフを設定します。
音にリバーブ効果（残響効果）を与えることで、美しい響きが得られます。（P.10参照）

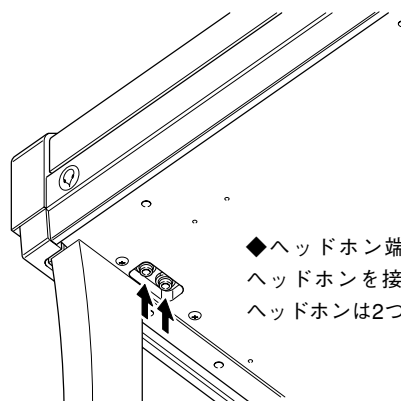
●レコーダー
PLAY/STOP, RECボタンを使って、自分の演奏を録音、再生することができます。
（P.14参照）

●メトロノーム
メトロノームのオン／オフやテンポ／拍子／音量を設定します。（P.12参照）

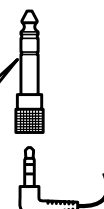
+▲ 設定 −▼　ブリリアンス　リバーブ　レコーダー 再生/停止　録音　メトロノーム テンポ　拍子　音量

Concert Artist CA1000GP　POWER

●POWER（電源スイッチ）
電源をオン／オフするスイッチです。ご使用後は必ず電源を切ってください。（P.8参照）

◆ ソステヌートペダル
鍵盤を押した後、指を離す前にこのペダルを踏むと、そのとき押さえていた鍵盤の音のみに余韻を与えます。
従って、このペダルを踏んだ後に押した別の鍵盤の音は、通常通り発音します。

◆ ソフトペダル
音量がわずかに下がると同時に音の響きがやわらかくなります。
ジャズオルガンが選ばれている時は踏むたびにロタリースピード（Slow/Fast）を切り替えます。

◇ ヘッドホン

◆ヘッドホン端子（2個）
ヘッドホンを接続する端子です。
ヘッドホンは2つまで接続できます。

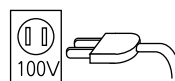
◇注意
ヘッドホンジャックの大小に対応するための着脱可能アダプターが付いています。
プラグを抜いたとき、このアダプターが残ると本体のスピーカーから音が出ない場合がありますのでご注意ください。

2. 演奏してみましょう

1）基本操作

ここでは、電源を入れて音を出すまでの基本的な手順を説明します。

□操作１

電源コードを AC100V のコンセントに差し込みます。

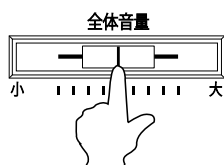
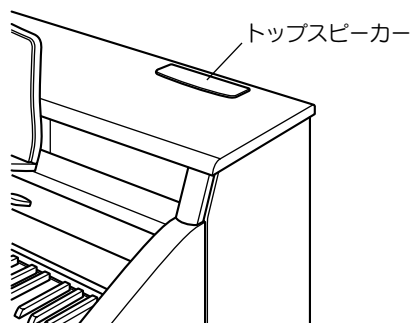
□操作２

POWER（電源スイッチ）ボタンを押して電源をオンにします。

POWER ボタンを押すと音色ボタンのグランドピアノ１が点灯し、LCD ディスプレイに「ｺﾝｻｰﾄｸﾞﾗﾝﾄﾞ 1」と表示されます。

ｺﾝｻｰﾄ ｸﾞﾗﾝﾄﾞ 1

リバーブボタンも点灯します。

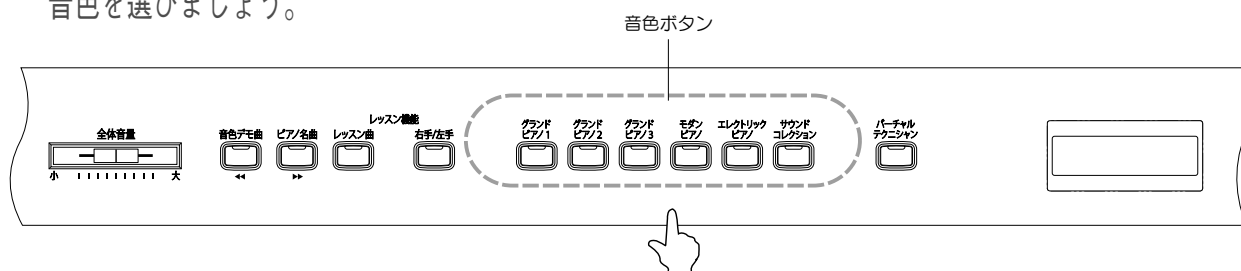
□操作３

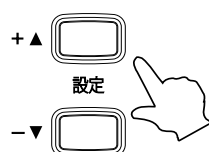
全体音量 スライダーを中央付近にセットします。

⚠ 注意　・CA1000GP には音の拡がり感、奥行き感を出すために天板の左右にトップスピーカーを装備しています。この上に水、コーヒーなどの液体をこぼすと故障の原因になりますので十分ご注意ください。

◇ 音色の選び方

パネルには、6 個の音色ボタンがあります。
CA1000GP は、各音色ボタンに 4 つの音色が割り当てられており、合計 24 音色を内蔵しています。

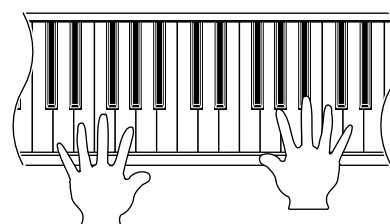
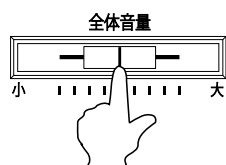
音色ボタン	音色名
グランドピアノ 1	コンサート グランド 1
	メロウ グランド 1
	ジャズ グランド 1
	スタジオ グランド 1
グランドピアノ 2	コンサート グランド 2
	メロウ グランド 2
	ジャズ グランド 2
	スタジオ グランド 2
グランドピアノ 3	コンサート グランド 3
	メロウ グランド 3
	ジャズ グランド 3
	スタジオ グランド 3
モダンピアノ	ピアノ & ストリングス
	ピアノ & クワイア
	E.ピアノ & パッド
	E.ピアノ & ストリングス
エレクトリックピアノ	クラシック E.ピアノ 1
	クラシック E.ピアノ 2
	モダン E.ピアノ 1
	モダン E.ピアノ 2
サウンドコレクション	ストリングス
	ジャズ オルガン
	チャーチ オルガン
	ハープシコード

□操作 1

音色を選びましょう。

押された音色ボタンのランプが点灯し、選択されます。
1 つの音色ボタンに複数の音色が割り当てられており、選択されているボタンを再度押すと同じ音色ボタンに割り当てられている他の音色が選択されます。

■ 設定ボタンで 24 音色連続で切り替えることもできます。

□操作 2

鍵盤を弾いてみましょう。

選んだ音色が鳴ります。
全体音量スライダー でお好みの音量に設定できます。

■複数の鍵盤を同時に押した時の発音数（同時発音数）は、最大 192 音です。（音色によって異なります）

2）リバーブ/ブリリアンス

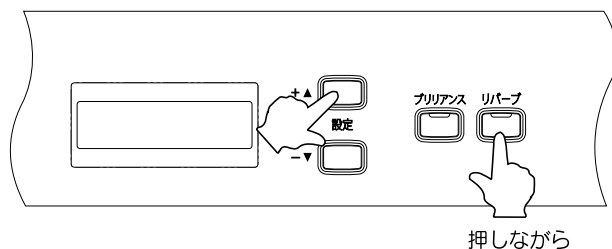
5種類のリバーブとブリリアンス設定機能を装備しています。

◇音にリバーブを加える

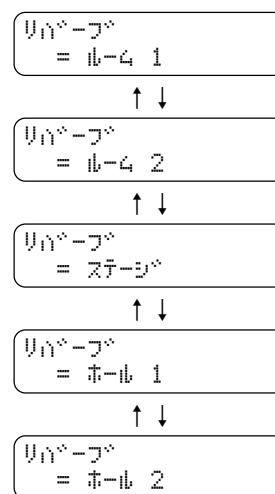
リバーブを加えると、音に残響効果が加わり深みのある美しい響きが得られます。
以下の5種類のリバーブを用意しています。

■ルーム1、2　：室内で演奏している時にかかる残響効果が得られます。
　ルーム2の方が長い残響時間が得られます。
■ステージ　：ステージで演奏している時にかかる残響効果が得られます。
■ホール1、2　：ホールで演奏している時にかかる残響効果が得られます。
　ホール2の方が長い残響時間が得られます。

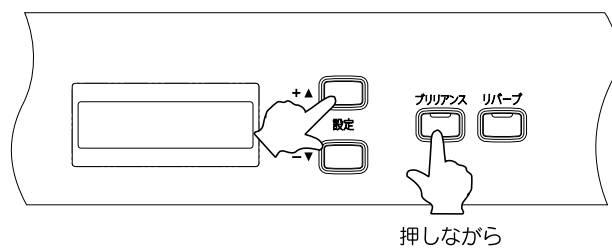
□操作1

リバーブボタン を押しながら設定ボタンを押すたびにリバーブの種類がディスプレイに表示されます。
選択するリバーブの種類をディスプレイに表示させ、リバーブボタンから手を離します。

リバーブ ボタンを押している間、ディスプレイに今選ばれているリバーブの種類が表示されます。

リバーブ ボタン を押して消灯させると、音色のリバーブ効果は解除されます。
再度リバーブ ボタン を押して点灯させると、前回選択していた種類のリバーブ効果が加えられます。

リバーブ ボタン を離すとディスプレイの画面は音色表示になります。

■電源オン時は、それぞれの音色に適した種類に設定されます。
（但し、ユーザーメモリー（P.37参照）を設定した場合は、その設定に従います。）

◇ 音の明るさ（ブリリアンス）を変える

音色の明るさを調整します。

□操作 1

ブリリアンスボタンを押しながら設定ボタンを押して値を変更します。
値を変更したらボタンから手を離します。

```
1 ブリリアンス
            = 0
```

値は[-10 ～ +10]の間で設定します。
値が大きくなるほど音色が明るくなります。

ブリリアンスボタンを押して消灯させると音色は元の明るさに戻ります。
再度ブリリアンスボタンを押して点灯させると前回設定した値の明るさになります。

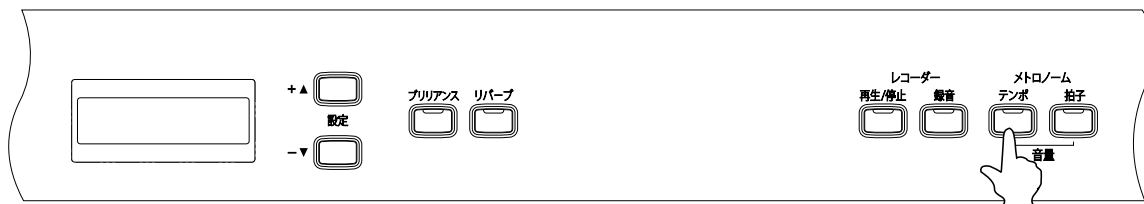
■電源オン時は、「0」に設定されています。
（但し、ユーザーメモリー（P.37 参照）を設定した場合は、その設定に従います。）

3）メトロノーム

メトロノームを鳴らしてテンポを正しく練習したり、演奏を楽しむことができます。

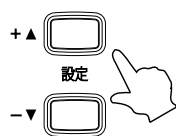
◇ メトロノームの発音とテンポ設定

□操作１

テンポボタンを押します。

テンポボタン が点灯し、メトロノームが発音します。
ディスプレイにそのテンポの値が表示されます。

テンポ　♩= 120
●ooo

□操作２

設定ボタンを押してテンポを設定できます。

テンポの値を ♩ =10 ～ 400 の範囲で設定できます。
（3/8、6/8、7/8、9/8、12/8 拍子のときは、♪=20 ～ 800）

□操作３

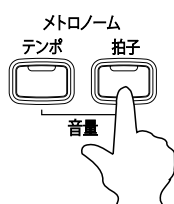
再度テンポボタンを押すとメトロノームが止まります。

テンポ ボタンのランプが消灯します。

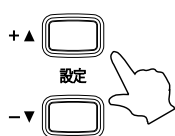
◇ メトロノーム の拍子の設定

□操作１

拍子ボタン を押します。

拍子ボタンが点灯し､ディスプレイにその拍子が表示されメトロノームが発音します。

ビート　= 4/4
●ooo

□操作２

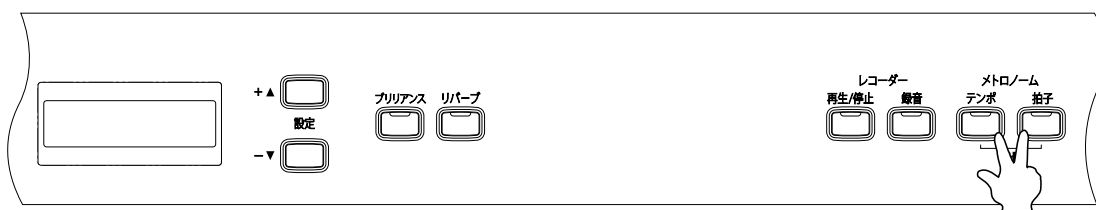
設定ボタン を押して拍子を選択します。

1/4, 2/4, 3/4, 4/4, 5/4, 3/8, 6/8, 7/8, 9/8, 12/8 より選択することができます。

□操作３

再度拍子ボタン を押すと拍子ボタンのランプは消灯し、メトロノームが止まります。

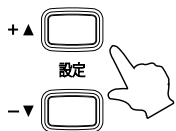
◇ メトロノームの音量設定

□操作１

テンポボタンと拍子ボタンを同時に押します。

テンポボタンと拍子ボタンが点灯し、メトロノームが発音します。
ディスプレイにその音量の値が表示されます。

```
ボリューム =  5
●○○○
```

□操作２

設定ボタン を押して音量を設定します。

1～10 の範囲で設定できます。

□操作３

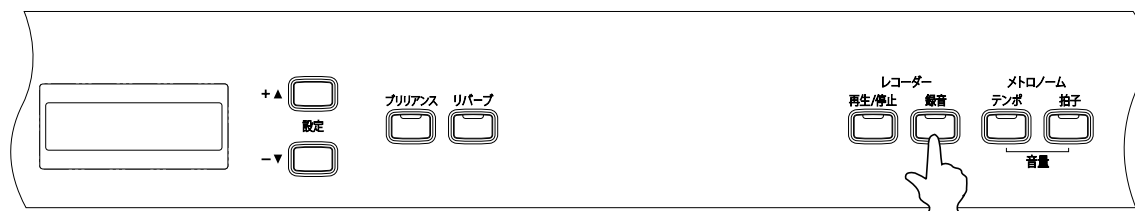
再度テンポボタンと拍子ボタンを同時に押すとランプが消灯し、メトロノームが止まります。

3. レコーダー

1）録音

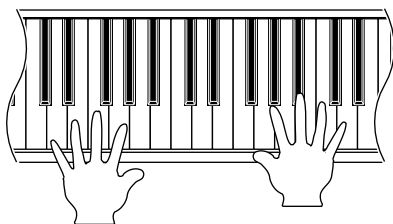
CA1000GP では、レコーダー機能を使って自分の演奏を 1 曲録音して再生することができます。

□操作 1

録音ボタンを押します。

ディスプレイが録音モードになり、
録音ボタンが点滅します。

レコート゛

□操作２

鍵盤を弾いて録音をスタートします。

鍵盤を弾くと自動的に録音がスタートします。
このとき、レコーダーボタンと再生/停止ボタンのランプが点灯します。

再生/停止ボタンを押しても録音を開始できます。
録音中の音色変更も記憶されます。

□操作３

演奏が終わったら再生/停止ボタンを押して録音を終了します。

再生/停止ボタンとレコーダーボタンが消灯し録音が停止します。
ディスプレイは、録音停止を表示した後、自動的に再生待機状態の表示になります。

■レコーダーの総記憶容量は、約15,000音です。録音中に記憶容量が一杯になったときは、再生/停止ボタンと録音ボタンが消灯し、録音が中止されます。中止される直前までの演奏は録音されます。

■レコーダーに記憶した内容は、本体の電源を切っても消えません。

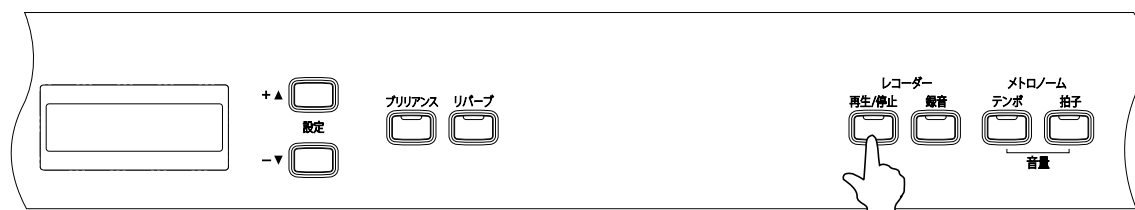
■録音中のパネル操作に関して ...

- 音色変更は記憶されます。
- テンポ変更は記憶されません。

2）再生

録音した曲を再生します。
録音直後に再生する場合は、操作２より行ってください。

□操作１

再生/停止ボタンを押します。

再生待機状態となります。

□操作２

再度、再生/停止ボタンを押し再生を開始します。

□操作３

演奏を停止するには、再生/停止ボタン押します。

再生待機状態となります。

□操作４

音色ボタンを押すと通常の状態に戻ります。

3）録音したデータの消去

ここでは、録音に失敗したり、いらなくなった曲を消去します。

□操作１

再生/停止ボタンと録音を同時に押します。

再生/停止ボタンと録音ボタンのランプが点滅します。

デリート(Recボタン)

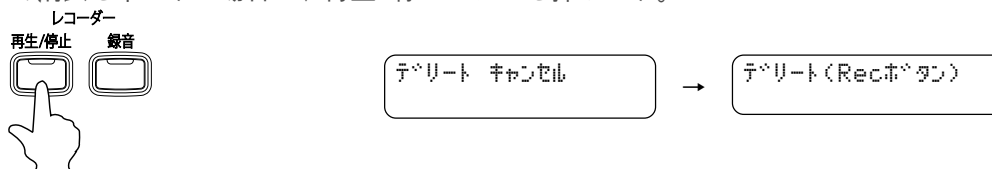
□操作２

録音を押すと確認のメッセージが表示されます。

□操作３

再度録音ボタンを押すと録音したデータが消去されます。

デリート コンプリート

※操作２で消去を中止する場合は、再生/停止ボタンを押します。

さらに再生/停止ボタンを押すと、ディスプレイは再生時の表示となります。

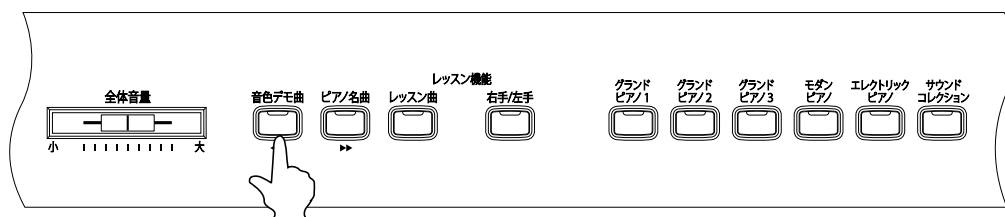
■再生/停止ボタンと録音ボタンを押しながら、電源を入れてても消去することができます。

4. 音色デモ曲

各音色ボタン毎に下表のデモ曲を内蔵しています。
それぞれの音色にあったデモ演奏をお楽しみください。

音色	デモ曲
■ グランドピアノ１	
コンサートグランド１	：乙女の祈り/バダジェフスカ
メロウ グランド１	：２つのアラベスク 第１番/ドビュッシー
ジャズ グランド１	：カワイオリジナル
スタジオグランド１	：カワイオリジナル
■グランドピアノ２	
コンサートグランド２	：12の練習曲 作品10の4 / ショパン
メロウ グランド２	：トロイメライ/ シューマン
ジャズ グランド２	：カワイオリジナル
スタジオグランド２	：カワイオリジナル
■グランドピアノ３	
コンサートグランド３	：マズルカ 第23番 / ショパン
メロウ グランド３	：愛の夢 第3番 / リスト
ジャズ グランド３	：カワイオリジナル
スタジオグランド３	：カワイオリジナル
■モダンピアノ	
ピアノ & ストリングス	：カワイオリジナル
ピアノ & クワイア	：カワイオリジナル
■エレクトリックピアノ	
クラシック E.ピアノ１	：カワイオリジナル
モダン E.ピアノ１	：カワイオリジナル
■サウンドコレクション	
ジャズ オルガン	：カワイオリジナル
チャーチ オルガン	：トッカータ/ジグー
ハープ シコード	：フランス組曲第6番/バッハ

□ 操作１

音色デモボタンを押します。

音色デモボタンのランプが点灯し、音色ボタンが点滅します。そのまま何も操作しなければ、グランドピアノ１のデモ曲が演奏されます。
グランドピアノ１のデモ曲の演奏後、各音色のデモ曲が順不同に演奏されます。
ディスプレイには、音色名が表示されます。

```
デ゛モ
コンサート グ゛ラント゛1
```

□ 操作２

操作１でデモ曲演奏中に、音色ボタンを押して曲を変更することができます。

押された音色ボタンのデモ曲を再生した後、各音色のデモ曲が順不同に演奏されます。
１つの音色ボタンに複数のデモ曲が内蔵されている場合、そのボタンを繰り返し押すことにより、次の曲を選ぶことができます。

□ 操作３

再度音色デモボタンを押せば、デモ曲の演奏は停止します。

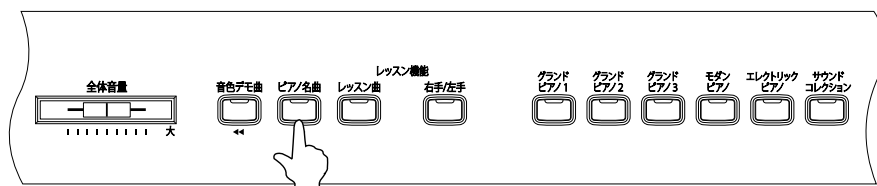
■レコーダーの再生 / 停止ボタンを押しても停止します。

5. ピアノ名曲

発表会でよく演奏される曲を中心に、バロック時代のラモーの作品からロマン派のショパンまでの作品29曲を内蔵しています。また、対応楽譜「CLASSICAL PIANO COLLECTION」を付属しています。鑑賞や練習にご活用ください。

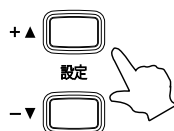
曲　　　　名	作曲者名
タンブラン	ラモー
調子のよいかじ屋	ヘンデル
メヌエットト長調（BWV.Anh.114） メヌエットト短調（BWV.Anh.115） メヌエットト長調（BWV.Anh.116）	バッハ
かっこう	ダカン
ガヴォット	ゴセック
メヌエット	ボッケリーニ
主題と変奏「ピアノ・ソナタ第11番K.331」より第１楽章 トルコ行進曲「ピアノ・ソナタ第11番K.331」より第3楽章 メヌエット	モーツァルト
ピアノ・ソナタ「月光」より第１楽章 ピアノ・ソナタ「悲愴」より第2楽章 エリーゼのために	ベートーベン
ロンド・ファヴォリ	フンメル
即興曲　作品90の4 楽興の時　作品94の3 間奏曲 即興曲　作品142の3	シューベルト
歌の翼に 春の歌 ロンド・カプリチョーソ	メンデルスゾーン
別れの曲 雨だれの前奏曲 子犬のワルツ ノクターン第2番 幻想即興曲 軍隊ポロネーズ 英雄ポロネーズ	ショパン

□ 操作１

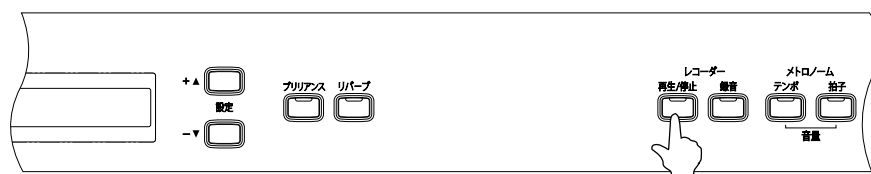
ピアノ名曲ボタンを押します。

ピアノ名曲ボタンのランプが点灯し、
曲選択画面が表示されます。
ディスプレイの上段に曲名、下段に作曲者名が表示されます。

タンブラン
ラモー

□ 操作２

設定▲▼ボタンを押して曲を選択します。

演奏中も変更することができます。

□ 操作３

再生/録音ボタンを押すと演奏を開始します。

もう一度再生/停止ボタンを押すと演奏を停止します。
さらに再生/停止ボタンを押すと停止位置から演奏を再開します。

また、レッスン曲同様、片方のパートだけを再生すること（マイナスワン再生）ができます。詳しくは P.25 をご覧ください。

□ 操作４

ピアノ名曲ボタンを押すとランプが消灯し、通常の演奏状態に戻ります。

6. レッスン曲

CA1000GP は、次のレッスン曲集を内蔵しています。

1. バイエルピアノ教則本全曲（ただし予備練習、付録を除く）（カワイ出版）
2. ブルクミュラー 25 の練習曲全曲（カワイ出版）
3. チェルニー 100 番練習曲全曲（カワイ出版）
4. チェルニー 30 番練習曲全曲（カワイ出版）
5. ソナチネ・アルバム 1 全曲（カワイ出版）
6. バッハ・インヴェンション（カワイ出版「バッハ・インヴェンションとシンフォニア」INVENTIO 1 〜 15）

内蔵曲集から 1 曲を選んで次のような練習ができます。

1. 見本曲を再生して曲想を覚える。
2. 見本曲の左手パートを再生しながら右手パートを練習する。
3. 見本曲の右手パートを再生しながら左手パートを練習する。
4. テンポを変更して練習する。
5. 見本曲の左手パートを再生しながら右手パートの演奏を録音して聴いてみる。
6. 見本曲の右手パートを再生しながら左手パートの演奏を録音して聴いてみる。

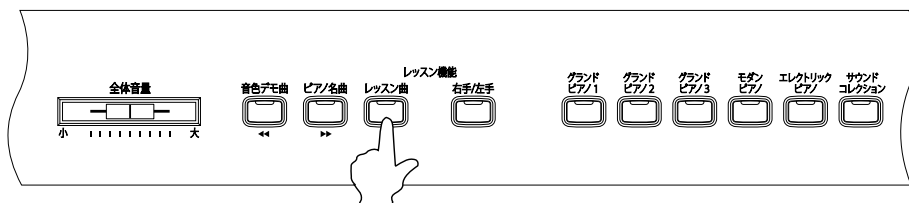
■これら練習曲のテンポは、無理なく練習できるように一部の曲を除いて遅くしてあります。
■設定されているテンポよりも遅くして再生した時、ブルクミュラーの一部の曲ではフェルマータの長さが変らない場合があります。
■練習時に指に無理な負担をかけないように、チェルニーの一部の曲を除いて強打時（フォルテ）の音量を下げてあります。

なお、練習するための楽譜はカワイ出版のものをご使用下さい。

■バッハ・インヴェンションの強弱起号などの表現記号については、カワイ出版楽譜、他を参考にしています。

◇ 練習したい曲を選ぶ

□操作１

レッスン曲ボタンを押します。

ディスプレイがレッスン曲選択画面になり、1 行目に曲集名ー曲番号、
2 行目に演奏小節とテンポが表示されます。

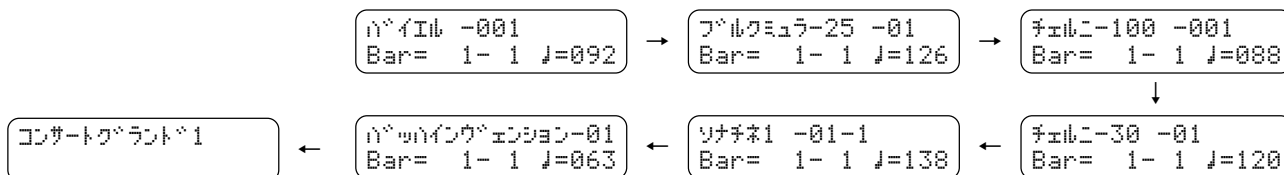
```
ﾊﾞｲｴﾙ -001
Bar= 1- 1 ♩=092
```

■この時「バイエル１番テーマ」が選択されています。

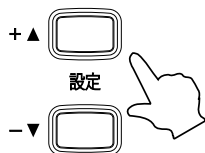
□操作２

レッスン曲ボタンを何回か押して練習したい曲集を選びます。

バイエル、ブルクミュラー、チェルニー100、 チェルニー30、ソナチネ、インヴェンションの中から選びます。

レッスン曲ボタンを押すと次の順序で曲集名がディスプレイに表示されます。
レッスン曲ボタンを７回押すと通常演奏モードに戻ります。
音色ボタンを押すことによっても通常演奏モードに戻ります。

再生中でも操作可能です。

□操作３

設定ボタンを押して練習したい曲番号を選びます。

```
ﾊﾞｲｴﾙ -001-12
Bar= 1- 1 ♩=092
```

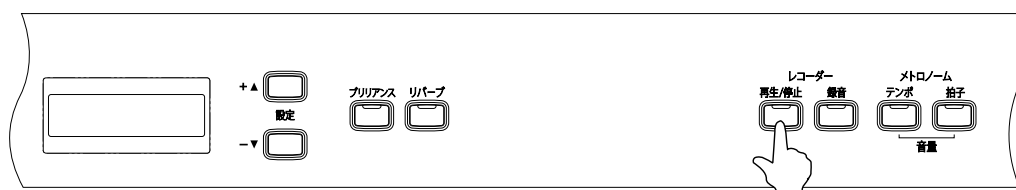
バイエル	：001、001-01 ～ 001-12、002、002-01 ～ 002-08、003 ～ 106
ブルクミューラー 25	：01 ～ 25
チェルニー 100	：01 ～ 100
チェルニー 30	：01 ～ 30
ソナチネ・アルバム１	：01 ～ 30 ※
インヴェンション	：01 ～ 15

※幾つかの楽章に分かれている曲の場合は、
曲番号の後ろに楽章番号がつきます。

再生中でも操作可能です。ただし練習を録音中の場合は操作できません。

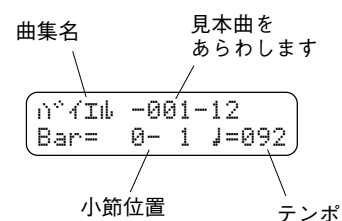
◇ 見本曲を聴く

□操作１

レコーダーの再生/停止ボタンを押します。

メトロノームが１小節鳴った後、見本曲が再生されます。

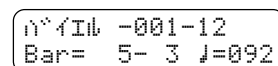
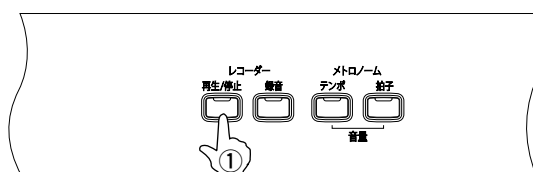
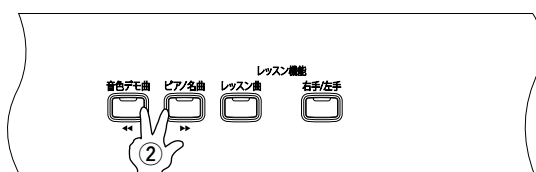
■この間は現在の位置より１小節前の小節が表示されます。
■弱起の曲の場合、最初の小節位置はゼロになります。

見本曲再生中はメトロノームが再生されませんが、メトロノームを鳴らしたい場合には、メトロノームのテンポボタンをオンにします。

テンポを変更して聴きたい場合には、テンポボタンを押しながら設定ボタンを押します。
▼で遅く、▲で速くなります。
変更した後、元のテンポに戻す場合には設定の▲と▼ボタンを同時に押します

□操作２

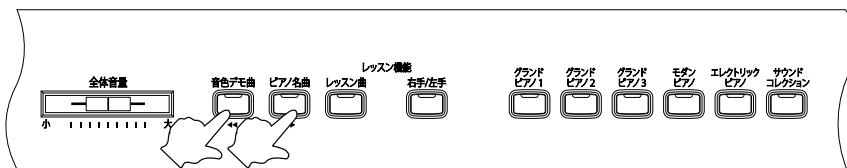
レコーダーの再生/停止ボタンをもう一度押します。

見本曲の再生が止まります。

ﾊﾞｲｴﾙ -001-12
Bar= 5- 3 ♩=092

もう一度再生/停止ボタンを押すと、1小節メトロノームが鳴った後、止めた小節の最初から再生が始まります。
最初から再生したい場合には、再生/停止ボタンを押して演奏を止めてから◀◀と▶▶ボタンを同時に押します。

押してから

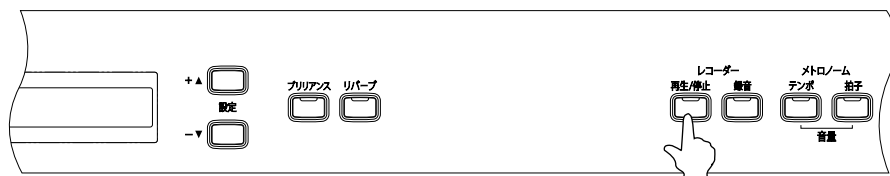
◇ 見本曲の途中から再生する

□操作１

▶▶ボタン、または◀◀ボタンを押します。

▶▶ボタンを押すと１小節進みます。◀◀ボタンを押すと１小節戻ります。押し続けると早く進み（戻り）ます。

再生中でも操作可能です。

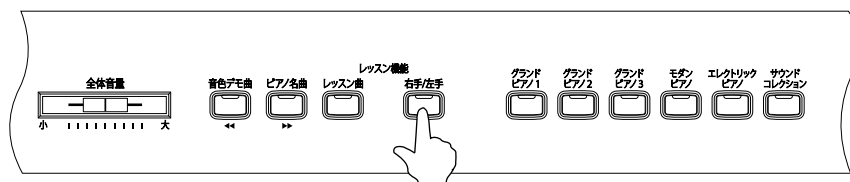
□操作２

再生/停止ボタンを押します。

１小節メトロノームが鳴った後、指定した小節から再生が始まります。

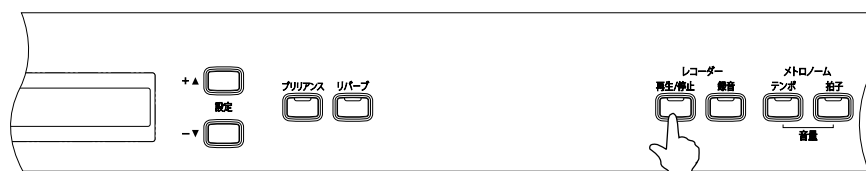
◇ 見本曲の片方のパートを再生しながら、もう片方のパートを練習する

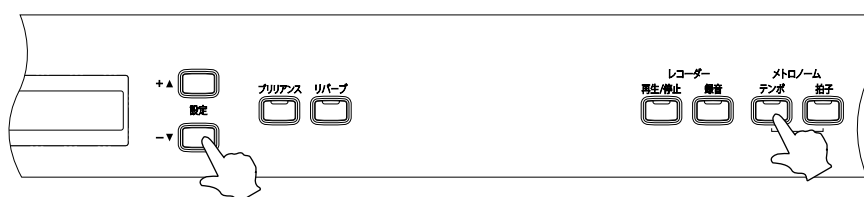
見本曲の片方のパートだけを再生することを「マイナスワン再生」といい、片方のパートを再生させながらもう片方のパートを練習することを「マイナスワン練習」と言います。

□操作１

見本曲を選んだ後、右手/左手ボタンを何回か押します。

■見本曲の左手パートを再生しながら右手パートを練習したい場合
　右手 / 左手ボタンを１回押します。右手 / 左手ボタンのランプが点滅して左手パートのみの演奏になります。
■見本曲の右手パートを再生しながら左手パートを練習したい場合
　右手 / 左手ボタンを２回押します。右手 / 左手ボタンのランプが点灯して右手パートのみの演奏になります。
■両方のパートを聞きたい場合
　右手 / 左手ボタンを３回押すと、ランプが消灯して両方のパートの演奏に戻ります。
■自分のパートの見本を再生しながら合わせて演奏した場合､弾く音程やタイミングによっては音質が変化することがありますが、これは故障ではありません。
■バイエルの中で先生の伴奏がついている曲の場合には､左手パートのみにすると先生のパートが演奏され右手パートのみにすると生徒のパートが演奏されます。

□操作２

レコーダーの再生/停止ボタンを押します。

メトロノームが１小節鳴った後、見本曲の再生が始まりますので、見本曲に合わせて片方のパートを演奏して練習します。

テンポボタンを押しながら設定▲▼ボタンを押してテンポを変更できます。
遅いテンポで練習したい場合には、設定ボタンの▼を押します。▲を押すと速くなります。
元のテンポに戻す場合には設定の▲と▼ボタンを同時に押します。

◇ 見本曲に合わせて録音する

見本曲をマイナスワン再生しながら、片方のパートの自分の演奏を録音した後、それを聞いて自分でチェックすることができます。

□操作１

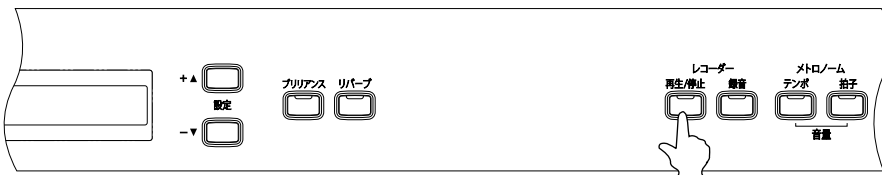
録音ボタンを押します。

録音ボタンのランプと再生 / 停止ボタンのランプが点灯し、メトロノームが１小節鳴った後、見本曲の再生と演奏の録音が始まります。

```
ﾊﾞｲｴﾙ -001-12
Bar=  5- 1 ♩=092
```

録音をはじめる前に、▶▶ボタンと◀◀ボタンで録音開始位置を変えることができます。
右手 / 左手ボタンで見本曲の右手、左手パートを変えることができます。

□操作２

再生 / 停止ボタンを押して、録音を終わります。

見本曲の再生と演奏の録音が終了し、録音ボタンと再生 / 停止ボタンのランプが消灯します。
録音した演奏は録音ボタンと再生 / 停止ボタンを同時に押すと消去することができます。

■録音した演奏は別の見本曲を選ぶと消去されます。

```
ﾊﾞｲｴﾙ -001-12
Bar= 12- 3 ♩=092
```

□操作３

もう一度再生 / 停止ボタンを押します。

```
ﾊﾞｲｴﾙ -001-12
Bar=  5- 1 ♩=092
```

メトロノームが１小節鳴ったあと見本曲と録音した演奏が再生されます。

▶▶ボタンと◀◀ボタンで再生開始位置を変えることができます。
右手 / 左手ボタンで見本曲の右手、左手パートを変えることができます。

□操作４

再生 / 停止ボタンを押します。

```
ﾊﾞｲｴﾙ -001-12
Bar=  9- 1 ♩=092
```

見本曲と練習の演奏が止まります。

◇ レッスン機能を終了する

□操作１

レッスン曲ボタンを数回押すか、音色選択ボタンを押して終了します。

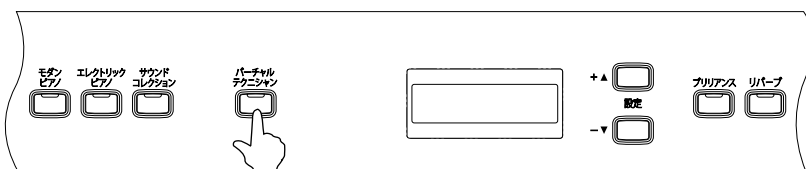
7.バーチャルテクニシャン

ピアノ調律師は、アコースティックピアノには、欠くことができません。
調律師は、調律/整調/整音作業により、ピアニストの趣好に合わせてピアノの調整をします。
バーチャルテクニシャンは、これらの作業を電子的にシミュレートし、演奏者の好みに近いピアノに調整することができます。

1）ボイシング
2）ダンパーレゾナンス
3）ストリングレゾナンス
4）キーオフエフェクト
5）ストレッチチューニング
6）ピアノアンビエンス
7）タッチカーブ
8）チューニング
9）トランスポーズ
10）ユーザーメモリー
11）ファクトリーリセット

1）ボイシング

アコースティックピアノにおける、弦を叩くハンマーの状態をシミュレートしたもので、6種類のハンマータイプが選べます。

□操作１

バーチャルテクニシャンボタンを押して、
ボイシングの画面を表示します。

```
1 ﾎﾞｲｼﾝｸﾞ
     = ﾉｰﾏﾙ
```

□操作２

設定ボタンで［ノーマル/メロウ1/メロウ2/ダイナミック/ブライト1/ブライト2］の中から設定します。

ディスプレイの２行目にハンマーの種類が表示されます。

■ノーマル　：通常の設定です。
■メロウ1, 2　：やわらかめのハンマーをシミュレートしたソフトな音色になります。
（メロウ２の方がよりやわらかなハンマーとなります。）
■ダイナミック　：タッチの強弱に応じて、ソフトな音色からブライトな音色までダイナミックに変化します。
■ブライト 1, 2　：硬めのハンマーをシミュレートしたブライトな音色になります。
（ブライト２の方がより硬いハンマーとなります。）

□操作３

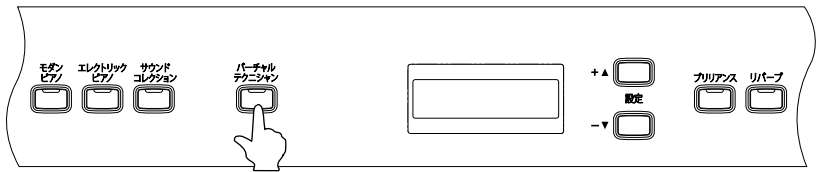
設定を終えたら、バーチャルテクニシャンボタンを数回押すか、音色選択ボタンを押してオフにします。

つづけて、バーチャルテクニシャンボタンを押して他の項目の設定をすることもできます。

■電源オン時は「ノーマル」に設定されます。
（但し、ユーザーメモリー（P.37 参照）を設定した場合は、その設定に従います。）

2）ダンパーレゾナンス

ダンパーペダル（P.6 参照）を踏んだときのピアノ全体の共鳴効果をシミュレートしたもので、この共鳴音の音量を設定します。

□操作 1

バーチャルテクニシャンボタンを数回押して、ダンパーレゾナンスの画面を表示します。

```
2 ダンパーレゾナンス
    =  5
```

□操作２

設定ボタンで値［オフ．１～10］を設定します。

「オフ」の場合、共鳴音はありません。
「1」で最も弱く、「10」で最も強く響きます。

□操作３

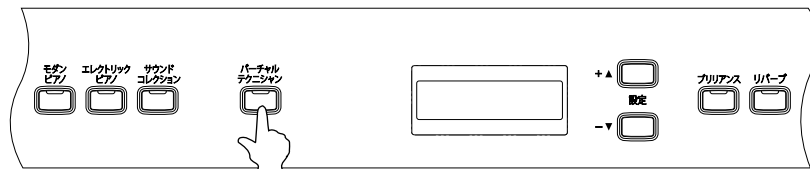
設定を終えたら、バーチャルテクニシャンボタンを数回押すか、音色選択ボタンを押してオフにします。

■電源オン時は「5」に設定されます。（但し、ユーザーメモリー（P.37 参照）を設定した場合は、その設定に従います。）
■ダンパーレゾナンスは次のピアノ音色にのみ効果があります。

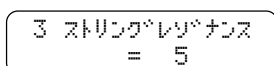
音色ボタン	音色名
グランドピアノ 1	コンサート グランド 1
	メロウ グランド 1
	ジャズ グランド 1
	スタジオ グランド 1
グランドピアノ 2	コンサート グランド 2
	メロウ グランド 2
	ジャズ グランド 2
	スタジオ グランド 2

3）ストリングレゾナンス

ピアノの弦の共鳴効果（ストリングレゾナンス）をシミュレートしたもので、この共鳴音の音量を好みに合わせて変更します。

□操作１

バーチャルテクニシャンボタンを数回押して、ストリングレゾナンスの画面を表示します。

```
3 ストリング゛レソ゛ナンス
      =  5
```

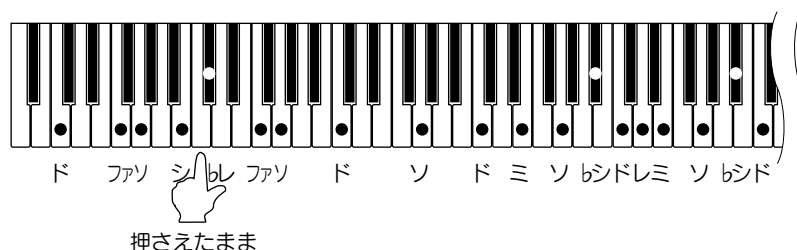
□操作２

設定ボタンで値［オフ．１～10］を設定します。

「オフ」の場合、弦の共鳴音はありません。
「1」で最も小さく、「10」で最も大きく鳴ります。

□操作３

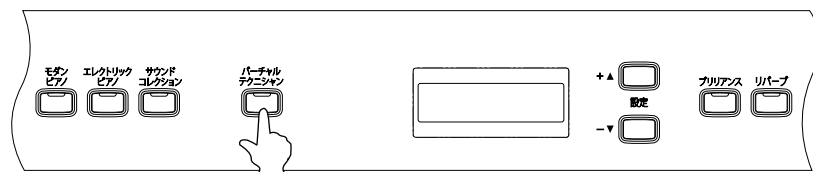
設定を終えたら、バーチャルテクニシャンボタンを数回押すか、音色選択ボタンを押してオフにします。

■ストリングレゾナンスとは
ピアノは各鍵盤毎に弦が張られています。
ある鍵盤を押さえた状態で他の鍵盤を弾くと、2つの鍵盤の音程の関係によって弦の共鳴が発生して音が出ます。これがストリングレゾナンスです。
例えばドの鍵盤を押さえたままの時、下図の鍵盤を弾くとドの鍵盤の弦が共鳴して音が出ます。

（ドの鍵盤をそっと押さえたままにして下図の鍵盤を弾いてすぐに止めると共鳴音が鳴っていることが良くわかります。）

■ピアノではある鍵盤を押さえたままにして隣の鍵盤を弾くと振動が伝わっておさえていた弦が共鳴して音が出ます。
CA1000GP ではこの現象もシミュレートしています。
■電源オン時は「5」に設定されます。（但し、ユーザーメモリー（P.37参照）を設定した場合は、その設定に従います。）
■ダンパーペダルを踏んだまま弾いた場合はストリングレゾナンス効果はありません。
■ストリングレゾナンスはピアノ音色にのみ効果があります。

4）キーオフエフェクト

特に低音で、ピアノの鍵盤を強く弾いてから離したときに、音が止まる直前にダンパーが弦に触れる音をシミュレートしたもので、この音量をお好みに合わせて調整することができます。

□操作１

バーチャルテクニシャンボタンを数回押して、キーオフエフェクトの画面を表示します。

4 キーオフエフェクト
= 5

□操作２

設定ボタンで値［オフ．１～10］を設定します。

「オフ」の場合、効果はかかりません。
「1」で最も弱く、「10」で最も強く鳴ります。

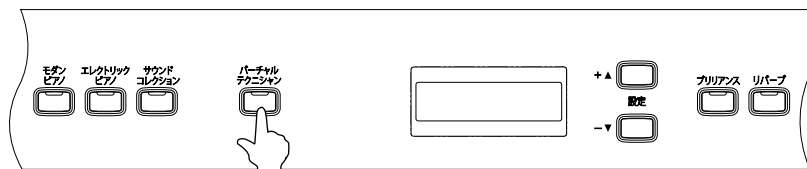
□操作３

設定を終えたら、バーチャルテクニシャンボタンを数回押すか、音色選択ボタンを押してオフにします。

■電源オン時は「5」に設定されます。（但し、ユーザーメモリー（P.37参照）を設定した場合は、その設定に従います。）
■キーオフエフェクトはピアノ音色にのみ効果があります。

5）ストレッチチューニング

ストレッチチューニングとは通常の平均律に比べ低音側は低く、高音側は高くするピアノ特有の調律のことで、CA1000GP は２種類のストレッチチューニングから選ぶことができます。

□操作１

バーチャルテクニシャンボタンを数回押して、ストレッチチューニングの画面を表示します。

5 ストレッチチューニング
= ノーマル

ディスプレイの２行目にノーマルまたはワイドが表示されます。

□操作２

設定ボタンで［ノーマル/ワイド］の中から選びます。

「ワイド」にすると低音側はさらに低く、高音側はさらに高くなります。

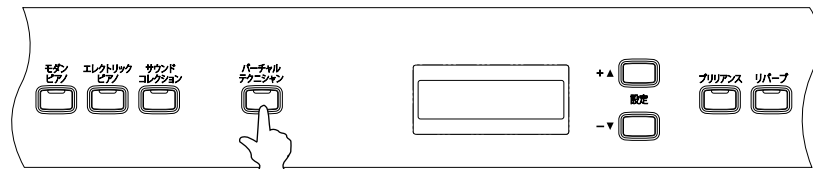
□操作３

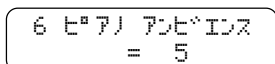
設定を終えたら、バーチャルテクニシャンボタンを数回押すか、音色選択ボタンを押してオフにします。

■電源オン時は「ノーマル」に設定されます。（但し、ユーザーメモリー（P.37参照）を設定した場合は、その設定に従います。）

6）ピアノアンビエンス

ピアノアンビエンスとは、 CA1000GPのトップスピーカーから出る音量を調節し音の拡がり感や奥行き感をお好みに応じて変える機能です。

□操作１

バーチャルテクニシャンボタンを数回押して、ピアノアンビエンスの画面を表示します。

```
6 ピアノ アンビエンス
    =  5
```

ディスプレイの２行目に値が表示されます。

□操作２

設定ボタンで［1～10/オフ］を設定します。

「オフ」の場合、トップスピーカーからの音は出なくなります。
「1」で最も小さく、「10」で最も大きくなります。

□操作３

設定を終えたら、バーチャルテクニシャンボタンを数回押すか、音色選択ボタンを押してオフにします。

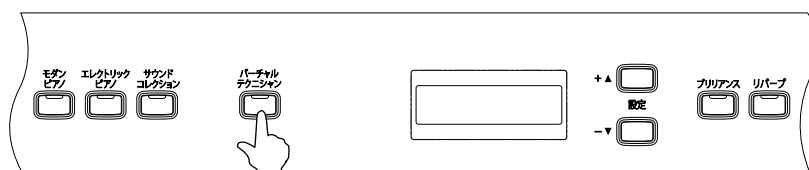
■電源オン時は「5」に設定されます。
（但し、ユーザーメモリー（P.37参照）を設定した場合は、その設定に従います。）

7）タッチカーブ

ピアノでは、鍵盤を弾く力をだんだん強くしていくと、音量もだんだん大きくなっていきます。
この鍵盤を弾く強さと音量との関係を表したものをタッチカーブと呼びます。
CA1000GPでは、6種類のタッチカーブに加え、演奏する人の力に最も適したタッチカーブを作るユーザータッチカーブ作成機能を搭載しています。

①ライト＋ ②ライト	：	弱いタッチで弾いても大きな音がでます。 小さなお子様や、オルガンプレーヤー向きのタッチカーブです。
③ノーマル	：	アコースティックピアノと同程度のタッチで音量が変化します。
④ヘビー ⑤ヘビー＋	：	強いタッチで弾かないと大きな音が出ません。 指の力の強い人向きのタッチカーブです。
⑥オフ	：	タッチの強弱に関わらず一定の音量で発音します。
・ユーザー1 ・ユーザー2	：	ユーザーが入力したタッチによりタッチカーブが作成されます。

大きい
音量
小さい
⑥
①②③④⑤
弱い　鍵盤を弾く強さ　強い

□操作１

バーチャルテクニシャンボタンを数回押して、タッチカーブの画面を表示します。

```
 7 タッチカーブ
= ノーマル
```

□操作２

設定ボタンでタッチカーブを［ヘビー＋/ヘビー/ノーマル/ライト/ライト＋/オフ/ユーザー1/ユーザー2］より選択します。

ディスプレイの２行目に値が表示されます。

■ユーザータッチカーブの設定方法は次ページを参照ください。

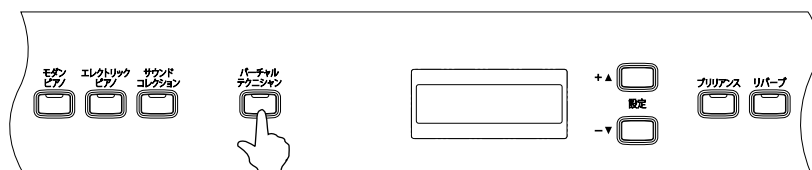
□操作３

設定を終えたら、バーチャルテクニシャンボタンを数回押すか、音色選択ボタンを押してオフにします。

■電源オン時は「ノーマル」に設定されます。
（但し、ユーザーメモリー（P.37参照）を設定した場合は、その設定に従います。）

◇ユーザータッチカーブ作成機能の使い方

ユーザータッチカーブ作成機能とは、ユーザーの鍵盤を弾く指の力に合わせて、自動的にタッチカーブを作成する機能です。

□操作１

バーチャルテクニシャンボタンを数回押して、タッチカーブの画面を表示します。
次に設定ボタンでタッチカーブをユーザー１もしくは２に設定します。

```
 7 ﾀｯﾁｶｰﾌﾞ
=ﾕｰｻﾞｰ1(Recﾎﾞﾀﾝ)
```

□操作２

録音ボタンを押します。

```
ｴﾝｿｳ ｶｲｼ
ｼﾞｬｸﾀﾞ > ｷｮｳﾀﾞ
```

□操作３

鍵盤を弾きます。

適当な鍵盤を使って弱打から強打まで弾いて下さい。
ディスプレイは録音ボタンを押して数秒たつと次の表示に変わります。

```
ｴﾝｿｳ ｼｭｳﾘｮｳ
-> ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝ
```

演奏が終わったら操作４に進んで下さい。

□操作４

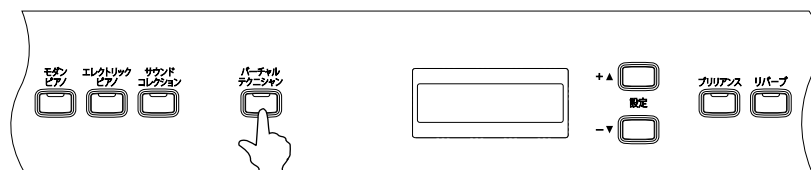
再生/録音ボタンを押します。

```
ｱﾅﾗｲｽﾞ
ｺﾝﾌﾟﾘｰﾄ
```

上記メッセージが画面に表示されたら完了です。
鍵盤を弾いた指の力に合わせて、タッチカーブが作成され本体に記憶されました。

8）チューニング

チューニングは、他の楽器とピッチ（音程）を合わせるときに行います。

□操作１

バーチャルテクニシャンボタンを数回押して、チューニングの画面を表示します。

```
8 チューニング
      = 440.0
```

ディスプレイの２行目に値が表示されます。

□操作２

設定ボタンでピッチを［427.0～453.0（Hz)］の間で設定します。

設定ボタンを押す度に 0.5 の単位で値を設定できます。

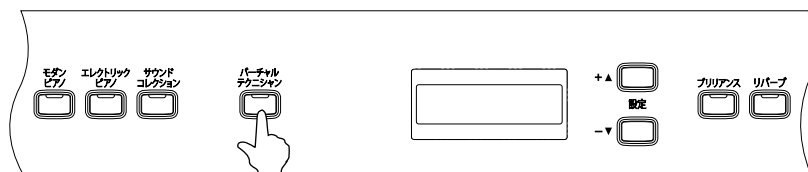
□操作３

設定を終えたら、バーチャルテクニシャンボタンを数回押すか、音色選択ボタンを押してオフにします。

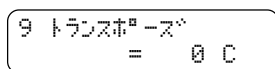
■電源オン時は、「440.0Hz」に設定されています。
（但し、ユーザーメモリー（P.37 参照）を設定した場合は、その設定に従います。）

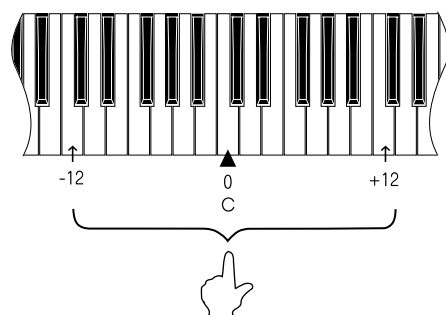
9）トランスポーズ

半音単位で調を変えることができます。
調の異なる楽器とのアンサンブル演奏や歌の伴奏をするときに、弾く鍵盤を変えずに簡単に移調できます。

□操作１

バーチャルテクニシャンボタンを数回押して、トランスポーズの画面を表示します。

```
9 トランスポーズ
       =   0 C
```

□操作２

鍵盤を押して移調値を（ー12〜＋12 [全2オクターブ]）の間で設定します。

設定ボタンを押すことでも移調できます。
電源オン時は、ハ長調（C）に設定されています。

鍵盤中央のド（C）が０です。
ディスプレイの２行目に値が表示されます。

□操作３

設定を終えたら、バーチャルテクニシャンボタンを数回押すか、音色選択ボタンを押してオフにします。

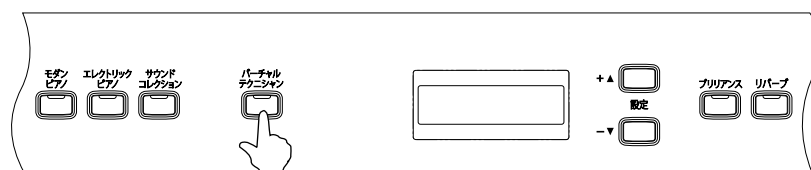
■電源オン時は、「0」に設定されています。
（但し、ユーザーメモリー（P.37 参照）を設定した場合は、その設定に従います。）

10）ユーザー メモリー

自分の好みの設定を本体に記憶することで、電源を入れ直しても、その設定で演奏することができます。

記憶する内容は右の通りです。

- ◆ ユーザー メモリー実行時に選択されている音色
- ◆ ユーザー メモリー実行時の各音色ごとのリバーブの設定
- ◆ バーチャルテクニシャンモードで設定した内容
- ◆ ブリリアンスの設定
- ◆ メトロノームのテンポ、拍子、ボリューム

□操作１

バーチャルテクニシャンボタンを数回押して、ユーザー メモリーの画面を表示します。

```
10 ﾕｰｻﾞｰ ﾒﾓﾘｰ
 ｾｰﾌﾞ  (Recﾎﾞﾀﾝ)
```

□操作２

録音ボタンを押し実行します。

```
10 ﾕｰｻﾞｰ ﾒﾓﾘｰ
 ｾｰﾌﾞ ｺﾝﾌﾟﾘｰﾄ
```

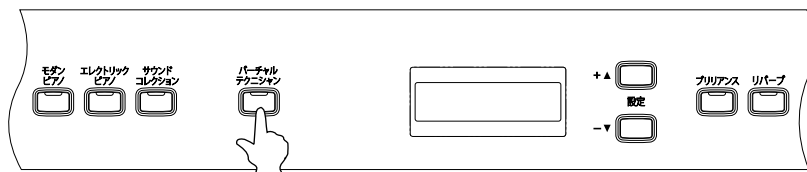
ディスプレイに、『ｾｰﾌﾞ ｺﾝﾌﾟﾘｰﾄ』と表示され、完了します。

□操作３

設定を終えたら、バーチャルテクニシャンボタンを数回押すか、音色選択ボタンを押してオフにします。

11）ファクトリー リセット

ユーザー メモリーを行ったときのみ、この画面が現れます。
ここでは、ユーザーメモリーで設定した内容を全て消去し、購入時の設定に戻すことができます。

□操作１

バーチャルテクニシャンボタンを数回押して、ファクトリー リセットの画面を表示します。

```
11 ファクトリー リセット
 リセット  (Recボタン)
```

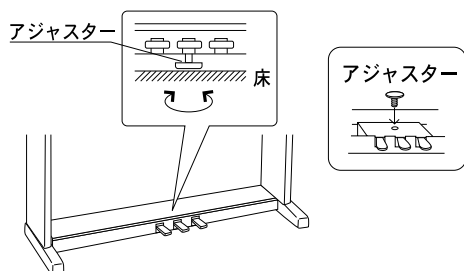
□操作２

録音ボタンを押すとファクトリー リセットされ、設定モードから抜けます。

8.付　録

◇ アジャスターの調整と譜面台及びヘッドホンフックの取付

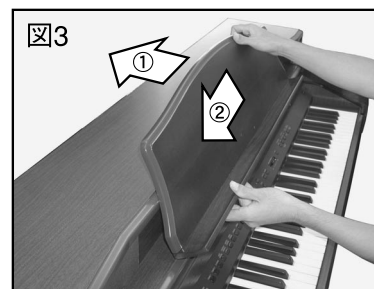
①アジャスターを調整します。

(1) ペダル土台の裏のアジャスターを、床にぴったりつくまで回し、スタンドの組立は完成です。

⚠ 注意　・アジャスターが浮いた状態で使用すると、ペダル土台を破損する恐れがあります。アジャスターは必ず床にぴったりつけて下さい。

■譜面台の取付

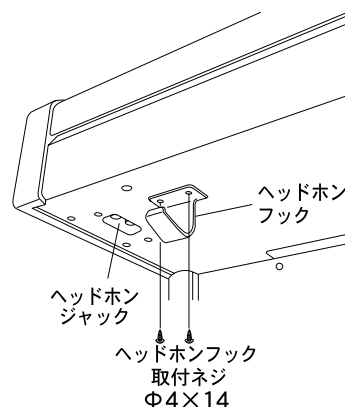
(1) 譜面台を中央より5cmほど右側に置き、譜面台の上部を①の方向に軽く押し付けます。

(2) (1)の状態のまま、左へゆっくり滑らせると中央で譜面台が固定されます。

※ 取外しの際は、譜面台を少し持ち上げて、右側へ滑らせます。

⚠ 注意　・取付時に本体や譜面台に傷がつかないようにご注意下さい。

■ヘッドホンフックの取付

(1) ヘッドホンフックと同封されている先の平らなネジ2本（Φ4×14）で、ヘッドホン端子の横にあるネジ穴に取り付けます。

※ ヘッドホンフックが不要な方は、取り付ける必要はありませんので、取扱説明書等と一緒に保管して下さい。

◇主な仕様

	CA1000GP
■ 鍵　盤	88鍵　AWA　グランドプロⅡ　木製鍵盤（AWA：アコースティック　ウェイティッド　アクション）
■ 最大同時発音	192音
■ 音　色	24音色
■ディスプレイ	16文字×2行　液晶ディスプレイ
■ 効果	リバーブ（ルーム1/2、ステージ、ホール1/2） プリセット＝コーラス、ディレイ、その他（ロータリー、トレモロなど）
■レッスン曲	全326曲
■ メトロノーム	1/4、2/4、3/4、4/4、5/4、3/8、6/8、7/8、9/8、12/8（テンポ、ボリューム可変）
■レコーダー	1トラック×1ソング　総記憶容量　約15,000音
■ 音色デモ	全19曲
■ピアノ名曲	全29曲
■ バーチャルテクニシャン	ボイシング（6種）、ダンパーレゾナンス、ストリングレゾナンス、キーオフエフェクト、 ストレッチチューニング（2種）、ピアノアンビエンス、 タッチカーブ（ライト×2、ノーマル、ヘビー×2、オフ、ユーザー×2）
■ その他の機能	ブリリアンス、ファクトリーリセット、チューニング、ユーザーメモリー、 トランスポーズ
■ペダル	ダンパー（8段階）、ソフト、ソステヌート
■ 外部端子	ヘッドホン×2
■出力	60W×2＋10W×2　デジタルアンプ
■スピーカー	13cm×2（スピーカーボックス入） 1.9cm（ドームツィーター）×2 （5×9）cm×2（トップスピーカー）
■定格電圧	AC 100V、50/60 Hz
■消費電力	80W
■ 外装仕上げ	天然マホガニー木工艶だし仕上げ
■寸法	（W×D×H）141×52×94 (cm) セットアップ時、但し譜面台は含まず
■重量	97kg
■同梱品	本体/譜面台/椅子（マホガニー艶だし仕上げ）/取扱説明書（本書）/ヘッドホン/ヘッドホンフック/クラシカルピアノコレクション（楽譜集）/保証書/ご愛用者カード

◇アフターサービスのご案内◇

ご使用中、万一故障等異常が発生した場合は、お買上げ店、あるいはお納めした担当員、またはお近くの弊社フィールドサポート担当へご連絡ください。

1）保証期間内に万一故障が発生した場合は、保証書をご提示の上、修理をご依頼ください。
無料修理規定により無料修理致します。

2）遠隔地へ転居されても、新しいご住居の近くのカワイが引続き責任をもってアフターサービスを担当させていただきます。
引越しの際の楽器運送について、あるいは転居後のアフターサービスについてなど、何なりとお近くのカワイにご相談ください。

フィールドサポート担当所在地

受付　本社コールセンター　月～金曜日 8：00 ～ 17：00
その他フィールドサポート担当　火～土曜日 9：00 ～ 17：30

※下記は技術者駐在先名称です。

本社コールセンター	〒430-8665 浜松市中区寺島町 200	☎053-457-1295
フィールドサポート札幌地区担当	〒060-0052 札幌市中央区南２条東２丁目 16	☎011-231-8675
フィールドサポート仙台地区担当	〒980-0014 仙台市青葉区本町 2-14-5（菅原ビル）	☎022-223-3181
盛岡	〒020-0021 盛岡市中央通 1-11-15（村上第２ビル 7F）	☎019-651-6627
秋田	〒010-0001 秋田市中通 2-1-32	☎018-834-2137
フィールドサポート東京地区担当	〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-36-4（全理連ビル）	☎03-3379-3374
宇都宮	〒321-0904 宇都宮市陽東 6-4-20	☎028-663-3211
前橋	〒371-0023 前橋市本町 2-10-1	☎027-243-1331
神奈川	〒229-0002 相模原市淵野辺本町 2-21-13	☎042-704-0330
フィールドサポート名古屋地区担当	〒465-0008 名古屋市名東区猪子石原 3-502	☎052-779-1679
金沢	〒920-0918 金沢市尾山町 2-9	☎076-262-8236
富山	〒930-0083 富山市総曲輪 3-5-11	☎076-423-8986
フィールドサポート大阪地区担当	〒541-0051 大阪市中央区備後町 3-3-9（静岡県産業ビル）	☎06-6262-5090
フィールドサポート広島地区担当	〒738-0034 廿日市市宮内 1-3-3	☎0829-39-0501
松山	〒790-0001 松山市一番町 1-11-5	☎089-947-1213
フィールドサポート九州地区担当	〒818-0138 太宰府市大字吉松字篠振 292-3	☎092-921-0724

※ご使用中、万一故障等異常が発生した場合は、お買上げ店、あるいはお納めした担当員、またはお近くの弊社フィールドサポート担当へご連絡下さい。

カワイ独自のサービスシステム QSS(クイック・サービス・ステーション)でアフターサービスも完ぺき。

カワイ QSS は、お客様の要望に敏速・誠実にお応えするカワイ独自のサービス機関です。全国のカワイショップやお納めした担当員を窓口として、全国体制でサービスを行っています。楽器の修理・調整・調律はもちろんレッスンのご相談など何でもお電話１本でお応えいたします。

カワイ QSS 所在地

カワイでは、アフターサービスについては万全を期しておりますが、万一、至らぬ点やお気づきのことなどございましたら下記の(株)河合楽器製作所支社内 QSS 支部、または本社 QSS 本部へご連絡ください。

QSS 本部	〒430-8665 静岡県浜松市中区寺島町 200	☎(053)457-1311
北海道支社	〒060-0052 北海道札幌市中央区南２条東２丁目 16	☎(011)231-8661
仙台支社	〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町 2-14-5 菅原ビル	☎(022)223-3181
関東支社	〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-36-4 全理連ビル	☎(03)3379-2221
中部支社	〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内 3-5-33 名古屋有楽ビル 8F	☎(052)957-3911
関西支社	〒541-0051 大阪府大阪市中央区備後町 3-3-9 静岡県産業ビル	☎(06)6262-2131
九州支社	〒810-0005 福岡県福岡市中央区清川 1-7-12 大戸ビル 3F	☎(092)521-3931

KAWAI

株式会社 河合楽器製作所

電子楽器事業部

〒430-8665　浜松市中区寺島町200番地

TEL.053-457-1277 / FAX053-457-1279

http://www.kawai.co.jp/

【お問い合せ先について】

◆ご不明な点がございましたら、下記お客様相談室をご利用ください。

［お客様相談室］

Tel：053-457-1311　　E-mail：customer@kawai.co.jp

電話受付時間　9：00〜12：00 / 13：00〜17：00

（土曜日、祝日及び弊社規定の休日を除きます）

［お客様サポート・お問い合せフォーム］

http://www.kawai.co.jp/　の「お客様サポート」よりお進みください。

◆故障と思われる場合については、お買い求めいただいた販売店、もしくはお近くのフィールドサポート担当までご連絡ください。

KPSZ-0202
0704S
Printed in Japan